

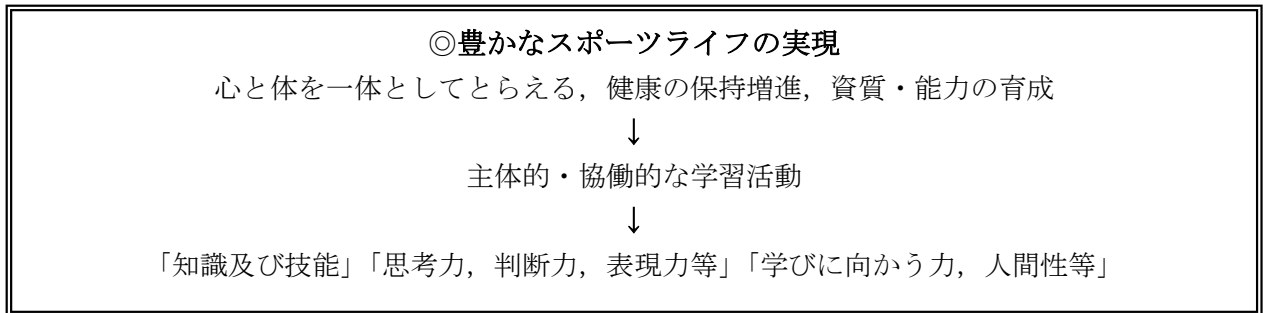
第1章 新学習指導要領 要点の整理

第1節 改訂のポイント

1 改訂の基本的な考え

- (1) 運動や健康に関する課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習活動を通して、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を育成する。
- (2) 「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の関係性を重視した学習過程を工夫する。
- (3) 小学校、中学校、高等学校を通じて系統性のある指導ができるようにする。

(参考:学習指導要領解説 P6～)



2 保健体育科の目標

する・みる・支える・知る

体ほぐしの運動など

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(参考:解説 P24～27)

保健を通して培う目標

体育を通して培う目標

生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の三本柱

(参考:解説 P27～29)

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 = 「知識及び技能」
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 = 「思考力、判断力、表現力等」
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 = 「学びに向かう力、人間性等」

3 体育分野の目標

	第1学年及び第2学年	第3学年
知識及び技能	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、 <u>生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため</u> 、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	運動についての <u>自己の課題</u> を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動についての <u>自己や仲間の課題</u> を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
学びに向かう力、人間性等	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の <u>役割</u> を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽して運動をする態度を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の <u>責任</u> を果たす、参画する、一人一人の違いを <u>大切にしようとする</u> などの意欲を育てるとともに、 <u>健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。</u>

【参考：解説 P30～36】

4 体育分野【内容及び内容の取扱い】の主なポイント

- ◎「学びに向かう力，人間性等」の指導内容 → 豊かなスポーツライフの実現につながる態度
(公正，協力，責任，参画，共生)
- ◎小学校段階との接続及び高等学校への見通しを重視→系統性を踏まえた指導内容の見直し
- ◎体力や技能の程度，性別や障害の有無等にかかわらず，運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるよう留意する。
《豊かなスポーツライフの実現》
 - ・運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有
 - ・原則として男女共習
 - ・共生の視点
- ◎生徒の困難さに応じた配慮の例の提示
- ◎指導と評価の一体化を一層推進する観点から，解説において「例示」を全ての指導内容で提示。
- ◎体づくり運動・・・「体力を高める運動」→「体の動きを高める運動」（第1学年及び第2学年）
→「実生活に生かす運動の計画」（第3学年）
- ◎水泳・・・・・・・・安全を確保するための泳ぎを加えて履修できる。
- ◎武道・・・・・・・・学校や地域の実態に応じて種目が選択できるように内容を弾力化
- ◎体育理論・・・・・・・・パラリンピックについても取り扱うことが明記
- ◎選択の開始時期・・・・・・・・第3学年において生徒が自由に選択して履修できるように配慮

(参考)

学習指導要領解説保健体育編

